

見番

現在、日本では全体として、プロの芸者の数は減少していますが、箱根には多くの若い女性を含む約 150 人のパフォーマーが活動しています。地元の芸者組合は箱根湯本見番によって支えられており、ここは芸者の稽古場でもあり、組合の本部でもあります。芸者はいわゆる下宿、あるいは置屋によって直接雇用され、配属され、見番が価格を決め、置屋と、芸者が出演を依頼される旅館またはホテルの間の全ての支払いを処理します。見番は、建物の維持管理やスタッフの給与、芸者に歌や舞の稽古を付ける指導者などに関する費用を支払うために、置屋から会費を集めます。箱根湯本見番は、地元の芸者がこの世界に入る時に借金を背負う必要がなくなるよう苦勞を惜しまず、芸人のための貯蓄型の年金制度を運用し、置屋には、しばしば非常に高価なこの衣装を購入することは求めず、必要な衣装を従業員に貸し出すよう推奨しています。

温泉リゾートや高級花街で求められるような正式な衣装ではなく、カジュアルな浴衣に身を包んで客を楽しませる温泉芸者の特徴として、箱根の芸者は一見客を受け入れています。通常料金（1 時間当たり ¥25,000）で、誰でも同じ値段

です。見番の毎月のイベントの1つに参加して、芸者のエンターテインメントを体験する方がいい人もいるでしょう。これは湯本または塔ノ澤に宿泊する人なら誰でも無料で、1時間歌と踊りを披露しております。